



NEWS RELEASE

2012年4月2日

東ソー株式会社

社長入社式挨拶（4月2日、東ソー本社での訓示から抜粋）

東ソー株式会社 入社式

日時：2012年4月2日（月）10時より

場所：本社（東京都港区）にて

宇田川 憲一 社長の訓示（要旨）

社会人としての第一歩を踏み出した皆さん、おめでとう。

東ソーに働く仲間の一人として、皆さんを迎えることができ、大変うれしく思っている。昨年11月、当社南陽事業所の塩ビモノマープラントにおいて、大きな爆発事故を起こしてしまった。この事故の原因究明、再度同様の事故を起こさないための対策実施のみならず、社長直轄の安全改革委員会による全社的な安全活動により、当社を「安全な化学メーカー」に再建することを新入社員の皆さんにも約束する。

入社式にあたり、次の4つのことを言うておく。

第一は、日本の製造業は、円高、高い法人税、行き過ぎた温暖化対策、電力供給制限等で、6重苦、7重苦の状態にあると言われており、私自身もそのように感じている。まるで、製造業は日本から出て行け、と言わんばかりの状況である。しかも、この状況が続くことを覚悟しなければならないと思っている。従って、事業によっては、今までの事業方針、ビジネスモデルを続けていても、成長はもとより、現状維持すらできないと予想される。即ち、ビジネスモデルの変更が必須である。

皆さんには、ピンチであると同時にチャンスでもある、この時期に入社したのだ、という自覚を持ってもらいたい。今まで以上に、会社を変えていく気概と努力が私たちには必要である。若い皆さんの発想、能力、頑張りに期待している。

第二は、会社の仕事は一人ではできない。コミュニケーションが大事である。苦手な人もいるだろうが努力し、仕事を上手に進めるためのしたたかな知恵をつけてもらいたい。

第三は、まず与えられた仕事のプロフェッショナル、スペシャリストになってもらいたい。同時に、将来幹部職になるために必要な、世の中の事、会社の別の仕事に対して、もそれなりの知識を持つ、ジェネラリストの下地も作ってもらいたい。

第四は、外国語で自分の仕事の話ができるようになってもらいたい。英語はマストである。できれば、今後益々重要性が増す中国語もマスターしてもらいたい。

以上

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>